

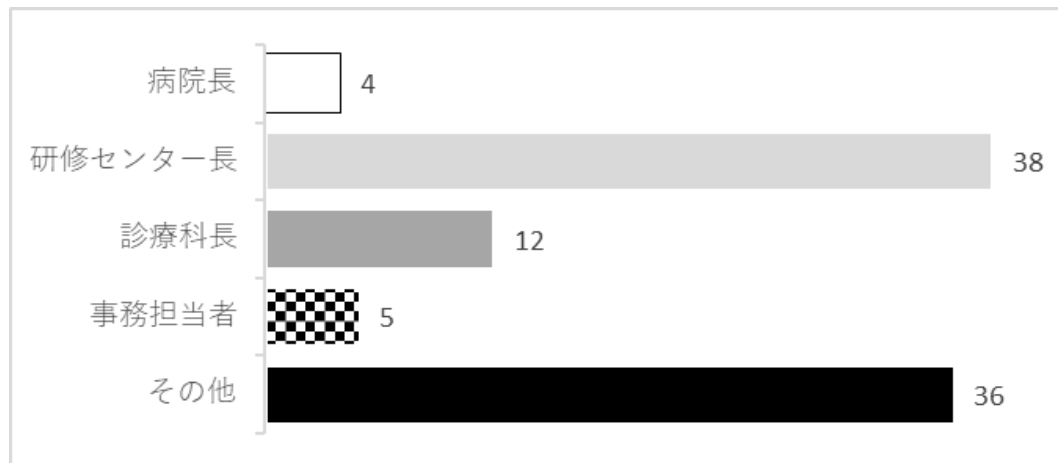
2024 年度 卒業生の学修成果に関する調査

本学卒業生が就職した初期臨床研修先施設に対しアンケートを実施しました。
個別調査票を郵送し、web データ集積管理システム REDCap でご回答いただきました。

実施期間	2025 年 2 月 14 日～4 月 30 日
2023 年度就職者数	96 名
対象者数	94 名（本調査に同意した者）
有効回答数	84 名（回答率 89.4%）

1 回答者について

（複数回答可）

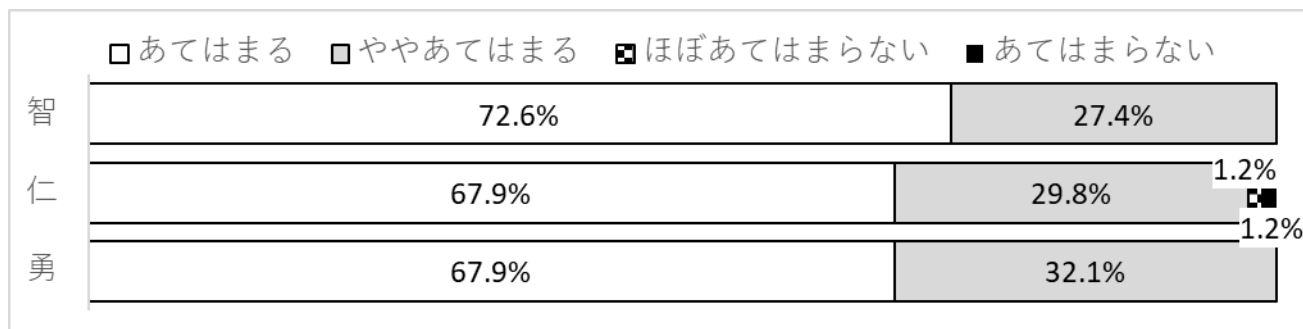


その他：副院長、プログラム責任者、研修センター教員、臨床研修管理委員、担当部長、医局長、指導医、講師、病院講師など

2 卒業生の学修成果について

2.1 本学の理念

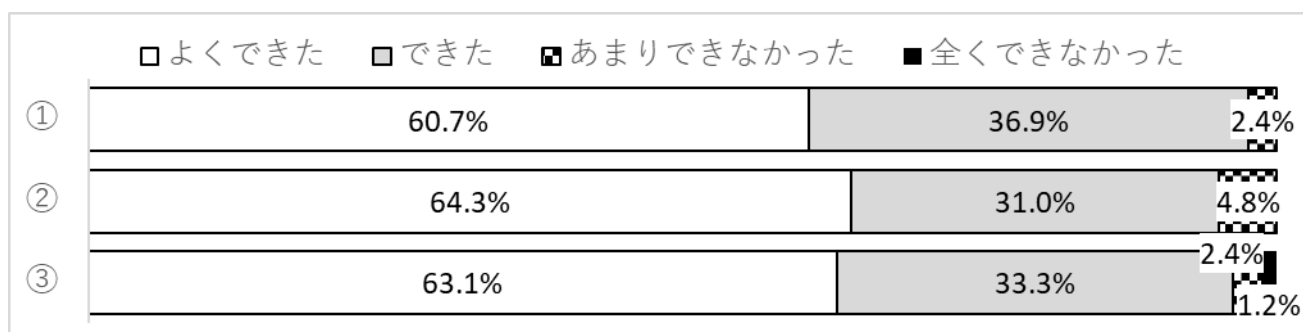
- ・「智」すなわち医学的知識と技能を習得することのみならず、効果的な学修のためのアルゴリズムを獲得し、生涯にわたる自学自習を開始できる
- ・「仁」すなわち人を分け隔てなく、温かく受け入れる心を身につけ、国際的視野を持ち、人類に貢献する高い志を習得している
- ・「勇」すなわち科学的思考に基づいた判断力・問題解決能力を身につけ、修得した医学を実践する決断力を習得している



2.2 本学の卒業時コンピテンス・コンピテンシー

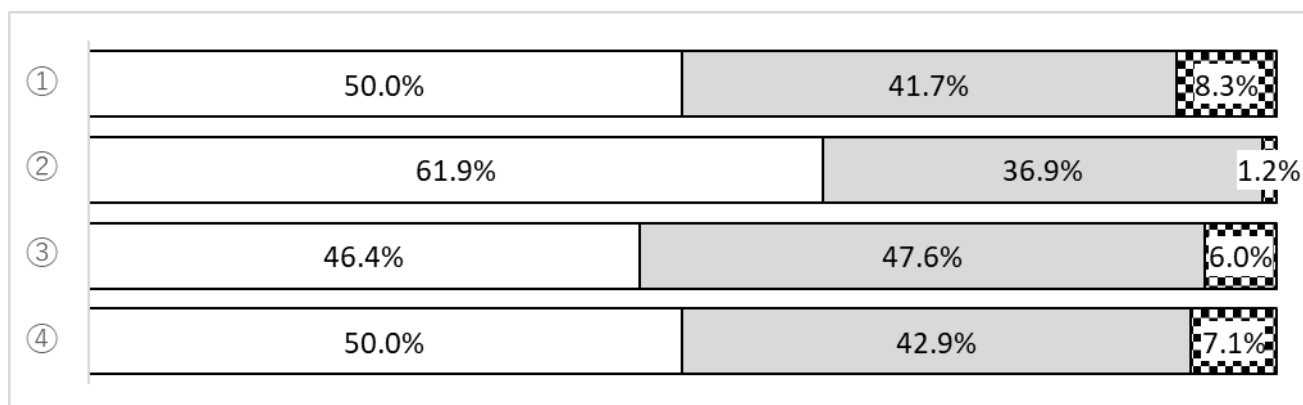
【プロフェッショナリズム】

- ① 患者および家族のニーズを認識し、患者中心の医療を提示、実践することができる
- ② 医療専門職として社会における自己の役割を理解し、継続的に学修することができる
- ③ 高いモラルを持ち、品性のある行動をとることができる



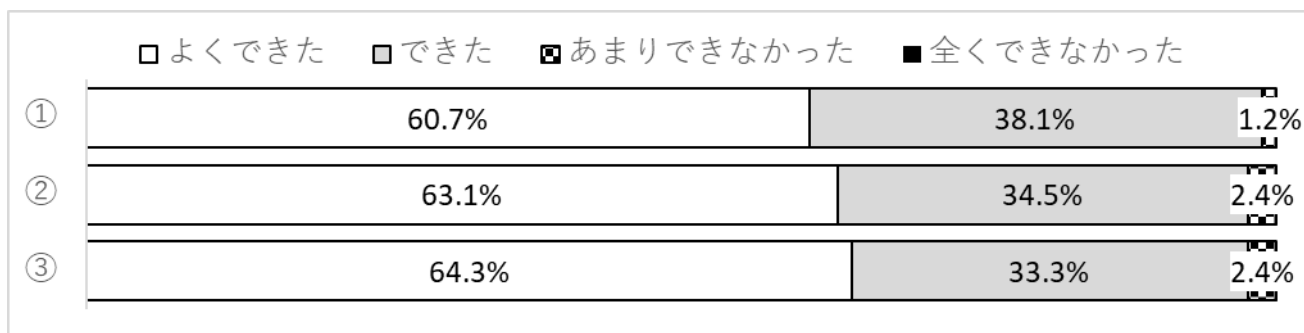
【医学知識と問題対応能力】

- ① 診療や研究の基盤となる基礎医学の領域の基礎的知識を修得し、応用することができる
- ② 診療や研究の基盤となる臨床医学の領域の基礎的知識を修得し、応用することができる
- ③ 診療や研究の基盤となる社会医学の領域の基礎的知識を修得し、応用することができる
- ④ 医療の基盤である生命科学、行動科学などの関連領域の知識と原則を理解し、医療の現場で実践することができる



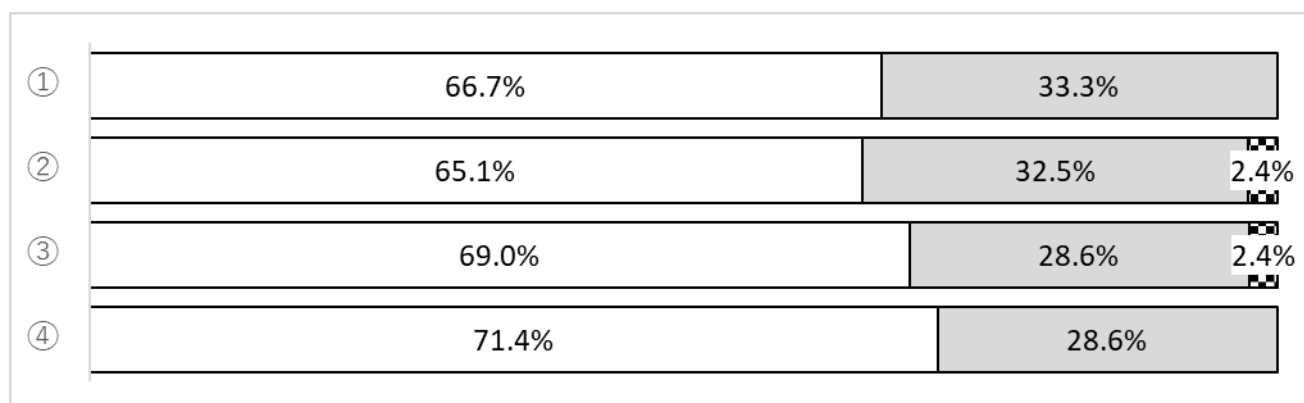
【診療技能と患者ケア】

- ① 論理的で体系的な医療面接、身体診察を行うことができる
- ② 頻度の高い疾患に関して、適切な鑑別診断と治療戦略を立てることができる
- ③ 基本的な臨床手技や緊急救命処置を安全に実践することができる



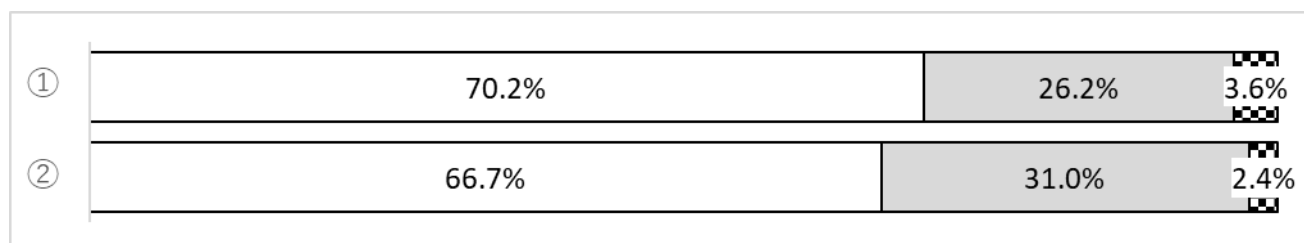
【コミュニケーション能力】

- ① 患者や家族にとって必要な情報を整理し、分かりやすい言葉で説明して、患者の主体的な意思決定を支援することができる
- ② 患者や家族の抱える問題を身体・心理・社会的側面から把握することができる
- ③ 適切な症例プレゼンテーションを行うことができる
- ④ 患者の状態について、報告・連絡・相談ができる



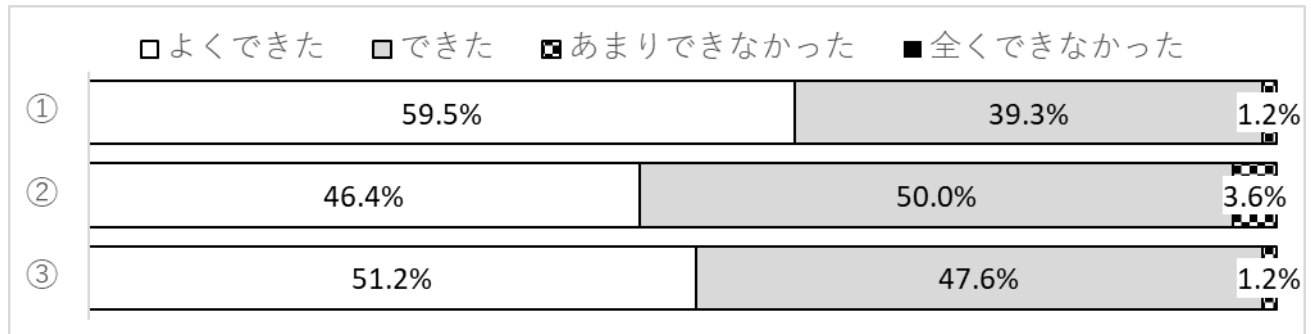
【チーム医療の実践】

- ① 医療を提供する組織やチームの目的、チームの各構成員の役割を理解する
- ② チームの各構成員と情報を共有し、連携を図る



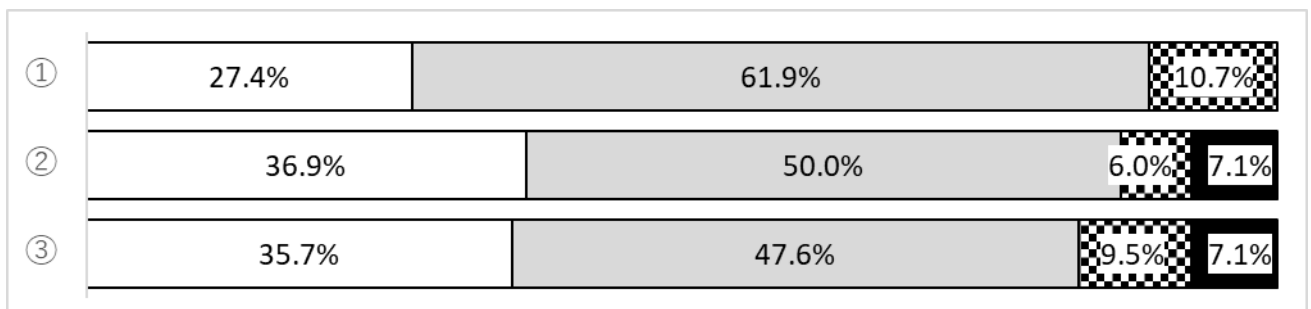
【医療の質と安全の管理】

- ① 医療の質と患者安全の重要性を理解する
- ② 医療事故等の予防と事後の対応を知る
- ③ 医療従事者の健康管理（予防接種や針刺し事故への対応を含む）を理解し、自らの健康管理に努める



【社会における医療の実践と大阪住民の幸福に貢献する力】

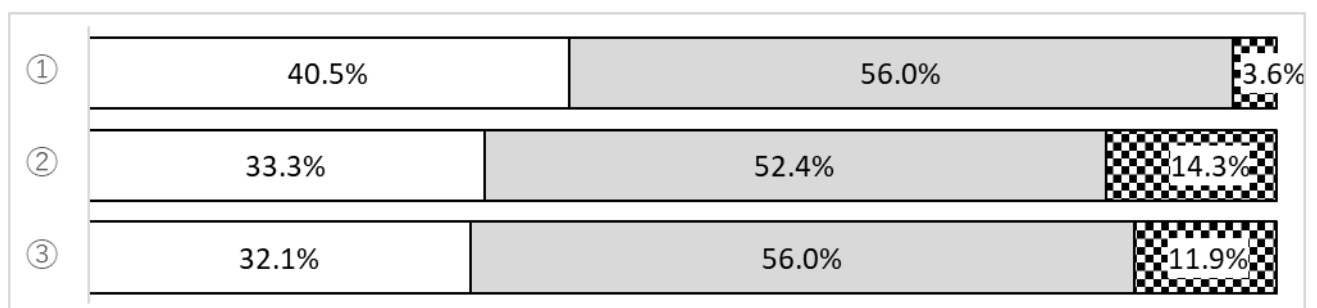
- ① 保健医療に関する法規・制度の目的と仕組みを理解する
- ② 大阪の地域医療に携わり、指導/監督のもと診療に参加できる
- ③ 大阪の医療の現状、課題を理解する



※②、③について、「あまりできなかった」「全くできなかった」と回答のあった 14 レコードのうち、5 レコードは大阪府外の施設でした。

【科学的探究】

- ① 医学及び医療上の疑問点を挙げることができ、適切にエビデンスを収集できる
- ② 科学研究方法を理解する
- ③ 研究の意義を理解し、参加、協力できる

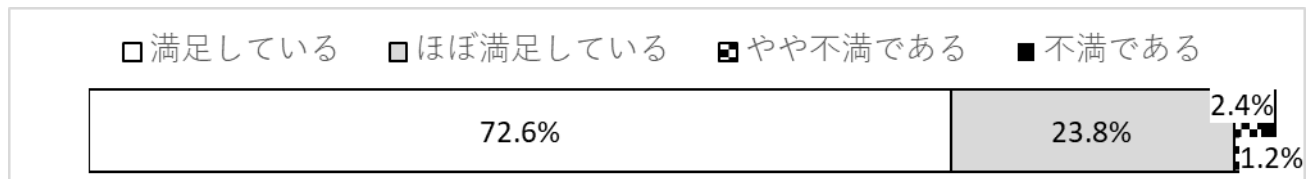


【生涯にわたって共に学ぶ姿勢】

- ① 国際的な広い視野をもち、急速に変化・発展する医学知識を学び、吸収できる
- ② 同僚、後輩、医師以外の医療職と互いに教え、学びあうことができる



2.3 総合評価



2.4 ご意見

- ・良医になれると思います
- ・真面目に頑張ったと思います。
- ・少し消極的だが歩は確実である。
- ・リーダーシップのある優秀な医師です。
- ・歴代の研修医と比べてややおとなしい感じがする。
- ・非常に積極的・貪欲に研修に臨んでくれている。
- ・やる気もあり、バランス感覚にすぐれ、後輩の模範となりました。
- ・非常におとなしい性格で控えめですが、驚くほど優秀です。
- ・積極性があり、コミュニケーションもしっかりしています。優秀です。
- ・非常に積極的で向上心のある素晴らしい先生に研修していただきました。
- ・非常にすばらしい研修態度でした。良い皮膚科医になっていただきたいと思います。
- ・患者さんへの関わり方、プレゼンテーション、後輩指導ともとても良くできていました。
- ・非常に真面目によく頑張っていたいただきました。研修医の取りまとめもしていただきました。
- ・時に自らの考えの修正をせず進んでしまうことがありましたが、概ね問題なく研修しておりました。
- ・全般的にはきちんと研修を受けていましたが、自分の興味のない科の研修はかなり手を抜いていました。
- ・指導する側に問題があったかもしれませんが、臨床における実力は研修中にもう少し伸ばすことができましたと思います。
- ・夏休み期間とは別に、連休なども含めてですが 2 週間ほどの休暇を複数回取得されております。有給休暇の範疇ですが、やや目立ちました。
- ・真面目に診療に取り組み、患者さんに真摯に対応しておりました。残念ながら、当院の地理的理由から、大阪の医療には貢献できておりませんこととお断り申し上げます。
- ・非常に将来が有望な若手医師です。初期研修医の中でも優れており、診療態度、積極性も申し分ないです。患者中心の医療が出来ており、サマリーや診療要約の記載もしっかり出来ていました。
- ・面接ではわからなかった明るい魅力が溢れた御仁でした。今後も良いムードメーカーになるでしょう。飲み会で司会をさせるとよく盛り上がりました。もちろん学力もよろしい。市大の研修医は皆さ

ん優秀です。

- ・細かいところによく気がつくできた研修医です。 コミュニケーション力が高く誰とでもうまくや
っていけそうです。一緒に仕事をしていてもストレスを感じません。 本人の人柄だけでなく貴学の
卒前教育の賜物でしょう。
- ・チーム内でのコミュニケーションも良好で、手術にも非常に積極的に臨むことができていました。
患者の状態をしっかりと把握し、治療プランを自分で考えながら立てていくことを習慣にしていけ
ば、さらに成長していけると思います。 素晴らしい外科医になってくれることを期待しています。

【カリキュラム評価委員会戦略部会からのコメント】

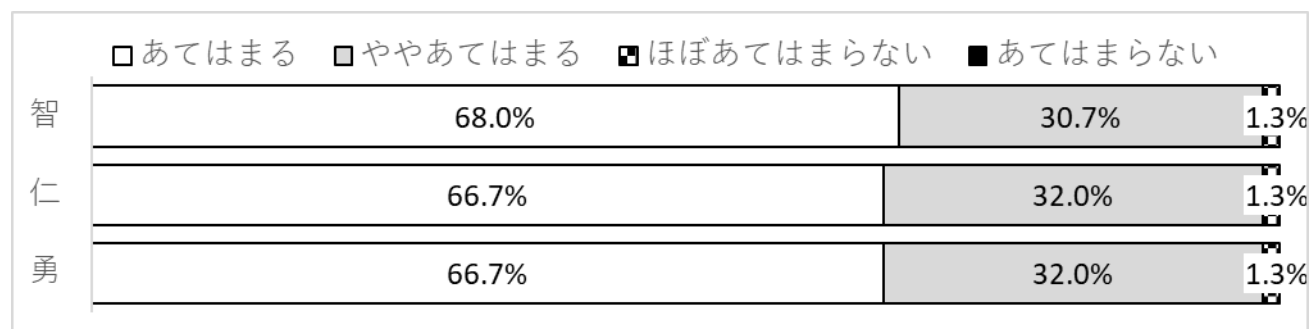
本学の理念である「智仁勇」を兼ね備えた卒業生が年々増加しており、理念が浸透していること
がうかがえる。

研修先施設に満足いただける人材を継続して輩出できており、教育プログラムに問題は見受けら
れない。

3 本学卒業生の実績及び本学の教育について

3.1 本学の理念

- ・「智」すなわち医学的知識と技能を習得することのみならず、効果的な学修のためのアルゴリズムを獲得し、生涯にわたる自学自習を開始できる
- ・「仁」すなわち人を分け隔てなく、温かく受け入れる心を身につけ、国際的視野を持ち、人類に貢献する高い志を習得している
- ・「勇」すなわち科学的思考に基づいた判断力・問題解決能力を身につけ、修得した医学を実践する決断力を習得している



3.2 本学の大学教育についてよいと思うこと

- ・好奇心旺盛。
- ・智、仁、勇の体得。
- ・真面目に研修している。
- ・問題解決能力が備わっている。
- ・他病院実習を積極的にしていること。
- ・FD 講演会が充実していて素晴らしい。
- ・屋根瓦式教育がしっかりと根付いている。
- ・学ぶ姿勢をしっかりと教育されているところ。
- ・「智」「仁」「勇」を掲げて、周知していること。
- ・真面目で向学意欲の高い学生さんが多い印象です。
- ・患者さんの視点にたてるような教育がされています。
- ・全員ではないが、利他的に仕事ができる人材が多い。
- ・卒前から卒後を意識して教育されているかと思います。
- ・首藤教授のもとに、医学生の教育が常に改善されている。
- ・真面目な方が多く、勉強もしっかりと出来ていると思います。
- ・当院で研修される研修医や学生は、一様に勉強はできるほうだと思います。
- ・マンツーマン指導がしやすい環境にあり、細やかな点にまで研修医を観察できる。
- ・具体的な教育内容は把握していませんが、素直な人材が多い印象を受けます。
- ・技術、学術面と人間的成長面、両方に渡っての教育方針が果たされていると思います。
- ・貴大学からの研修医の先生方は皆さん非常に真摯な態度で研修していただいております。
- ・FD 講演会が充実していて、学外から web 参加していますが、大変素晴らしいと思います。
- ・FD 講演会が充実していて素晴らしい。本学教員の工夫を知ることが出来るので、役に立っています。
- ・セカンドエクスポージャーなど、早期から医師として倫理観・責任感を養うプログラムとなっていると思います。
- ・医師となる前にまず社会人である。社会人としての礼節を教育しておられるのがよくわかります。是非続けて下さい。

- ・ 智仁勇ともバランス良く備えて、研修に臨みできていました。また、学生指導にも積極的に関わる姿勢が備わっていました。
- ・ 平均的に学習レベルは高く、社会人として出来ないといけない所作法も学生時点で教育してくださっている点は大変有難いと思います。
- ・ 個人情報の取り扱い注意や、医師としての心構えなどよく教育されているものと思います。基本的知識も十分です。また、皆さん優秀なので自発的に学習されていると理解しています。
- ・ 特になし

3.3 本学の大学教育について改善すべきと思うこと

- ・ プレゼンテーション能力の更なる向上。
- ・ 地域医療、保険制度に関する理解、習得。
- ・ さらに能動的に学習できるよう教育していただくとさらに良いと思います。
- ・ 研修医の間の研究に関する指導方法が確立しておらず、探求心向上のプログラムが乏しい。
- ・ 悪いことではないのですが、同窓生で仲良くし過ぎることが時にあるように感じられます。
- ・ 人間性等には問題はありませんが、社会に出てから学ぶことも前もって教えていただくとありがたいと思います。
- ・ 研修医に対しては、研究への興味を抱かせる方略が見いだせておらず、臨床中心指導に終始してしまう傾向にあります。
- ・ 英会話の授業を増やし、国際的な人材を育てるべきと思う。卒業時には日常英会話に困らないレベルを目指したい。また、リベラルアーツの授業も増やし、医学以外の教養を身に付けてもらう。
- ・ 与えられた課題だけでなく、例えば一つの症例に対して自ら問題点、疑問点を抽出し、そこから知識の幅を広げて、さらに応用、発展させて次の症例に繋いでいくことができるような問題解決能力の習得を期待したいです。
- ・ 特になし(14)

【カリキュラム評価委員会戦略部会からのコメント】

卒業生全体の印象としても智仁勇をいずれも備えている割合が年々高まっていることや、FD 講演会へ参加いただくことで、広い範囲の教育の関係者にも本学の理念が周知できていることがうかがえる。